



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社 ミツ星

上場取引所 東

コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塚本 聡一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 金城 安弘

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,470	△10.4	454	148.1	411	176.5	297	183.9
28年3月期第3四半期	7,217	1.5	183	64.0	148	21.6	104	11.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 349百万円 (288.5%) 28年3月期第3四半期 89百万円 (△28.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	52.13	—
28年3月期第3四半期	18.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	9,010	4,585	50.9	802.94
28年3月期	9,374	4,282	45.7	749.72

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,585百万円 28年3月期 4,282百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成29年1月31日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,736	△7.4	498	96.3	480	118.4	362	209.8	63.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年1月31日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	6,333,276 株	28年3月期	6,333,276 株
29年3月期3Q	622,299 株	28年3月期	621,048 株
29年3月期3Q	5,712,084 株	28年3月期3Q	5,712,685 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策や日銀の金融政策等を背景に雇用、所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、世界経済は、米国の次期政権の政策の不確実性や英国のEU離脱問題、欧州の地政学リスクや中国を始めとする新興国経済の減速で、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられます。公共投資は底堅い動きとなっており、新設住宅着工件数は、マイナス金利導入後の住宅ローン低下を受けて上期は急回復しましたが、夏場以降持家は前年を上回る水準で推移しているものの、分譲住宅では横ばいとなっています。

このような状況の中、当社グループの売上高は、主原材料である銅の価格が前年比で20%程下落したことによる売価の下落、子会社であるMITSUBOSHI THAI CO., LTD. の解散等により前年を下回りました。

営業利益においては、原材料価格の低下、生産性向上による原価低減、販管費の低減等により全セグメントで黒字となり、前年を上回りました。

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益も為替差損が42百万円発生しましたが、これを吸収し前年を上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,470百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益は454百万円（前年同期比148.1%増）、経常利益411百万円（前年同期比176.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益297百万円（前年同期比183.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、公共事業・設備投資の停滞を背景に、ゴム電線、プラスチック電線共に前年比減少基調で推移し、また銅価格が前年よりも大幅にダウンしている影響で、売上高は4,259百万円（前年同期比12.5%減）と減少しました。

利益面につきましては、コスト削減の取り組みと上期までの円高による為替の影響をうけて、セグメント利益は314百万円（前年同期比76.9%増）と大幅な増加となりました。

#### [ポリマテック]

当事業に影響のある住宅着工件数は、前年比増加基調で推移しているものの、子会社であるMITSUBOSHI THAI CO., LTD. の解散の影響等で、売上高は1,766百万円（前年同期比4.0%減）と微減となりました。

利益面につきましては、生産性の改善及びコスト削減の取り組みの結果、セグメント利益は91百万円（前年同期比334.5%増）と大幅な増加となりました。

#### [電熱線]

当事業の主要な市場である白物家電向けヒーター用途において一部海外品が流入してきたことや、海外向け受注においても新興国経済の減速の影響を受け受注が減少しました。白物家電用途以外の分野及び海外市場での新規開拓にも注力いたしました。ニッケル価格変動に起因する販売価格の下落の影響もあり売上高は444百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

利益面につきましては、効率性を追求した生産体制への移行による固定費の削減に取り組んだ結果、セグメント利益は47百万円（前年同期セグメント損失15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,763百万円となり、前連結会計年度末と比べ257百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が124百万円、電子記録債権が57百万円増加しましたが、現金及び預金が242百万円、たな卸資産が188百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少しました。これは主に投資有価証券が70百万円増加しましたが、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が104百万円、有形固定資産が88百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は9,010百万円となり、前連結会計年度末に比べ363百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円減少しました。これは主に電子記録債務が58百万円、流動負債のその他に含まれる1年返済予定の長期借入金が43百万円、支払手形及び買掛金が41百万円、短期借入金が32百万円、賞与引当金が36百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ447百万円減少しました。これは主に長期借入金が466百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,425百万円となり前連結会計年度末に比べ666百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,585百万円となり、前連結会計年度末に比べ302百万円増加しました。これは主に利益剰余金が252百万円、その他有価証券評価差額金が53百万円増加したことによるものであります。

自己資本比率は50.9%（前連結会計年度末は45.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました数値から変更しております。詳細につきましては、本日（平成29年1月31日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正（記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,455,210	1,212,376
受取手形及び売掛金	2,862,267	2,986,374
電子記録債権	261,601	318,771
商品及び製品	906,368	789,251
仕掛品	207,674	220,619
原材料及び貯蔵品	240,209	155,787
その他	87,652	80,044
流動資産合計	6,020,984	5,763,226
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,879,886	1,869,193
その他(純額)	753,517	675,964
有形固定資産合計	2,633,403	2,545,158
無形固定資産		
	32,116	54,869
投資その他の資産		
投資有価証券	465,771	536,633
関係会社長期貸付金	165,311	—
その他	225,688	114,414
貸倒引当金	△169,201	△3,575
投資その他の資産合計	687,569	647,473
固定資産合計	3,353,090	3,247,500
資産合計	9,374,074	9,010,727
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,035,533	993,997
電子記録債務	444,364	386,143
短期借入金	352,121	319,711
未払費用	28,406	29,626
未払法人税等	26,882	15,609
賞与引当金	75,207	38,354
その他	926,211	886,456
流動負債合計	2,888,727	2,669,900
固定負債		
長期借入金	1,603,823	1,137,120
長期未払金	233,170	232,385
退職給付に係る負債	311,327	308,138
その他	54,429	77,593
固定負債合計	2,202,751	1,755,236
負債合計	5,091,478	4,425,136

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	1,987,653	2,239,700
自己株式	△149,690	△150,020
株主資本合計	4,108,077	4,359,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,478	196,071
為替換算調整勘定	26,743	19,749
退職給付に係る調整累計額	5,295	9,975
その他の包括利益累計額合計	174,517	225,796
純資産合計	4,282,595	4,585,590
負債純資産合計	9,374,074	9,010,727



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,217,522	6,470,092
売上原価	5,923,399	4,966,084
売上総利益	1,294,123	1,504,008
販売費及び一般管理費	1,111,074	1,049,935
営業利益	183,049	454,073
営業外収益		
受取利息	273	972
受取配当金	11,343	11,278
受取家賃	6,897	6,735
仕入割引	5,732	4,808
その他	10,057	6,102
営業外収益合計	34,304	29,899
営業外費用		
支払利息	18,752	13,140
売上割引	16,362	14,310
為替差損	29,693	42,184
その他	3,707	2,854
営業外費用合計	68,516	72,489
経常利益	148,837	411,482
特別利益		
固定資産売却益	—	483
子会社清算益	—	11,115
特別利益合計	—	11,599
特別損失		
固定資産除却損	466	1,720
投資有価証券売却損	1,723	3,838
特別損失合計	2,190	5,559
税金等調整前四半期純利益	146,646	417,523
法人税、住民税及び事業税	22,348	29,395
法人税等調整額	19,433	90,382
法人税等合計	41,781	119,778
四半期純利益	104,865	297,744
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,865	297,744

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	104,865	297,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,436	53,592
為替換算調整勘定	12,396	△6,994
退職給付に係る調整額	1,011	4,680
その他の包括利益合計	△15,029	51,278
四半期包括利益	89,835	349,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,835	349,023

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,866,669	1,838,944	511,908	7,217,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	35	35
計	4,866,669	1,838,944	511,943	7,217,557
セグメント利益又は損 失(△)	177,899	21,109	△15,959	183,049

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,259,204	1,766,245	444,642	6,470,092
セグメント間の内部 売上高又は振替高	926	—	—	926
計	4,260,131	1,766,245	444,642	6,471,019
セグメント利益	314,726	91,727	47,619	454,073

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。